

令和5年10月定例記者会見

令和5年10月2日（月）午前11時～

<主な発表項目>

昨年10月から市内の一部地域（庄西・般若・庄川中学校区）において実証運行していた、デマンド型乗合交通「チョイソコとなみ」が10月から市内全域に対象エリアを広げて運行を始めた。

「ウチマチサポーターズ制度」により、民間事業者や店舗などが新たな停留所として加わり、利用者の利便性の向上が図られると期待している。

○ 子育て支援について

今まで庄川地域にあった4つの児童館が一つになり、旧東山見保育所を改修して「庄川児童館」として本日オープンする。子どもたちが、安全に、安心して過ごせる放課後の居場所が、より一層充実するものと期待している。

また、10月7日（土）には、庄川児童館のオープニングセレモニーを開催し、地域の皆さんと一緒に祝いしたい。

子育て世帯の保護者からご意見を伺う「mini²となみーていんぐ」でいただいたご意見のうち、10月からいくつか実施する。

- ・市公式ホームページ内の「子育て支援情報」トップページメニューのデザインを見直し、リンク先ページの内容を整理して目的の情報を探しやすくした。
- ・子育てにかかる保護者負担を軽減するため、公立保育所（全2か所）と認定こども園（全4か所）において、紙おむつの「サブスクリプションサービス」を導入した。

（10月～11月の2か月間の無料お試し期間を設け、12月以降に有償として実施）

○ 2023となみ夢の平コスモスウォッチング

となみ夢の平スキー場では、秋の訪れを感じるコスモスの花が風にゆれ始め、10月7日（土）～15日（日）の9日間、秋の花イベントである「2023となみ夢の平コスモスウォッチング」を開催する。今年の夏に東大生（フィールドワークでコスモス荘に滞在）が種をまいた、「秋ひまわり」も順調に生育しており、併せてお楽しみいただける。

会場内では、今年もリフト運行や屋外での飲食・物販コーナーを設ける。

特に飲食・物販コーナーでは、通常メニューのほか、となみブランド「せんだん山そば」及び「ふく福柿」をはじめ、地元産食材をふんだんに使った「山菜きのこそば」、「山菜ごはん」、「栗おこわ」なども販売され、これまで以上に食の面でも砺波を満喫することができる。

また砺波市観光協会では、コスモスウォッチングの新たな名物として期間限定の「コスモスご飯」を土日祝に30食限定で販売する。会場のコスモスを使った「お花の天ぷら」や「里芋のユズ味噌田楽」、「赤ずいきの酢の物」など懐かしい手作りの味を楽しんでいただける。

○ 秋の剪定枝リサイクル大作戦

剪定の適期である秋に剪定枝を拠点で受入れ、その処理費用を全額市が負担することで、屋敷林所有者の経済的負担を軽減、野焼きによらない処理の普及と環境保全を目的とし、「秋の剪定枝リサイクル大作戦」を10月28日（土）、29日（日）に高道グラウンドで実施する。毎年、春と秋に実施しており、市民の皆さんにもかなり定着してきた。

剪定枝を自分で運ぶことができない方や高齢者等のために自治会等で役員や有志が協力し運搬を手伝うなど「共助」の取組みも見受けられ、今後も、みんなが連携し、一体となって散居村の景観を守り、屋敷林保全支援に取り組んでいきたいと考えている。

今回も砺波高等学校の生徒にボランティアとして参加いただく。